



SSH レターズ

長崎県立大村高等学校

～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/3 号 2018/06/22

ミニ課題探究に向けて！

1 年生のSS探究Ⅰの最大の目玉は、年度後半から始まるミニ課題探究です。この探究活動の目的は、次の3点です。

- ①身の回りの事象に対する興味関心や問題に気づく力を高める。
- ②科学的探究手法の基礎を身につける。
- ③協働する姿勢とコミュニケーション力を身につける。

本校では特に、これからの時代を担う生徒に必要な力として「問題を発見する力」を重視しています。この力を高めるために、問題発見やテーマ設定の手法の開発に加え、次の3点に注力して取り組んでいきます。

- ①疑問を持たせる授業の実践
- ②ものの見方や考え方を揺さぶるような企画の展開
- ③探究の過程や思考の深まりを把握できる評価・指導法の開発

◆県理数科高等学校課題研究発表大会（数理探究科）

6月7日（木）、県内の理数科で学ぶ生徒が一同に会し、課題研究の成果を発表し、互いにディスカッションしあう「第12回長崎県理数科高等学校課題研究発表大会」が長与町民文化ホールで開催されました。本校からは、口頭発表の部に2班、ポスターセッションの部に7班が参加し、課題研究の成果を発表しました。1、2年生も積極的に質問や意見交換を行うなど、有意義な研修と相互交流の場とすることができました。本校から出場した「メダカの縄張り行動に関する研究」と「お茶に含まれるアスコルビン酸の測定」の2班は優秀賞を受賞し、8月に佐賀県で開催される第20回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会に長崎県代表として推薦されました。

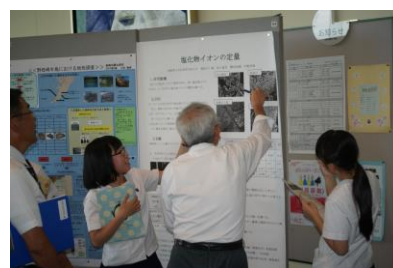


写真 左：アスコルビン酸の測定について口頭発表する本校生徒
右：塩化物イオンの定量についてポスター発表する本校生徒

◆理科部の活動紹介

4月に入部した1年生部員も学校生活にも慣れてきて、班での研究テーマを決定し、研究を開始しました。それぞれの班のテーマを紹介します。

グループ	テーマ
物理班 A	炭酸カルシウムを主成分とする固体の強度と水分含有量
物理班 B	半球形容器内の水の挙動分析
化学班	固体の表面状態と水溶液中における気泡のつき方
共同研究	ミカンの木に生息するクワガタの調査（杵岐高校・宇久高校との共同研究）

さらに、SSH校である長崎西高校や離島地区の高校等と連携して、ナガサキアメンボの生息調査についても行う予定です。



写真 左：物理班A 右上：物理班B 右下：化学班